



一般社団法人 愛媛県中小企業診断士協会
発行人：会長 上田 保
編 集：広報委員会

〒790-0003 松山市三番町4-8-7 第5越智会計ビル1F
TEL: 089-961-1640 URL: <http://shindan-ehime.com>
E-mail: shinai@shindan-ehime.com



目 次

◆会長挨拶（上田保）	1
◆2019年愛媛県中小企業診断士協会の活動について（山本久美）	2
◆平成30年度企業視察研修報告（多田稔）	3
◆私は何者か（加地孝則）	4
◆ご挨拶及び自己紹介～診断士として目指すビジョン～（仲谷和浩）	5
◆新人中小企業診断士としての事業活動内容と新会員としての抱負（小泉航二郎）	6
◆中小企業診断士を目指した理由と2019年の抱負（小柳絢香）	7
◆お知らせ（事務局）	8



会長挨拶

会長 上田 保

会員の皆様、明けましておめでとうございます。昨年は協会活動にご協力頂きまして、心よりお礼申し上げます。

昨年は7月の西日本豪雨災害により、南予地方を中心に多くの皆様が甚大な被害を受けました。中小企業でも公的施策や金融機関からの特別融資等の支援を受け、事業を再スタートされていますが、事業を軌道に乗せるためには多くの課題を抱えているのも現実です。我々会員も支援要請される機会が増えると思いますが、企業に寄り添った温かい支援で、地域経済の復興に貢献して頂けるようお願いいたします。

いよいよ4月30日に平成が終了を迎え、5月1日から新年号へ移行することとなります。来る新年号時代は第4次産業革命が進み、デジタル世界の新たな3種の神器となるIoT・AI・ビッグデータ活用で、世の中の仕組みがこれまでと異質な変革を遂げようとしています。そのようななか、人間しかできないことである「創造性」や「コミュニケーション」といった能力が重要であると言われています。そ



これら二つの能力を高めながらAIを活用すべきこと、AIでは対応不可能なことを切り分けながら企業支援できる中小企業診断士をめざすべきではないでしょうか。

また、中小企業を取り巻く現況を鑑みますと、後継者難、人手不足、働き方改革に伴う現場改善と人事制度の見直し、メンタルケア、事業再生等、経営課題もますます複雑化しています。それに合わせた支援となると、個での対応には限界があり、専門スキルを結集した複数での対応が必要となっています。そこに、協会活動の意義が出てきているものと考えています。

一方、今年は亥年、猪突猛進の気概で協会改革を推進する年だと捉えています。

す。法人化を機に外部機関との連携を進め、特に、ここ2年間では愛媛県、松山市、愛媛大学、愛媛県漁業協同組合連合会等との具体的な成果も出てきています。この流れを断ち切らず更なる協会自立化に向けた活動のため、これまで以上に皆様会員様のご協力が不可欠となります。協会活動は地道な積み重ねが成果となって表れるものだと思っています。つまり、日頃の活動が重要であり、そこに多くの会員様が関わることで事業が動くこととなります。事業案件ごとに皆様に協力をご依頼することとなります。これまで事業に参加されていない会員様もご参加され協会を盛り上げて頂けるよう、切にお願い申し上げます。



2019年愛媛県中小企業診断士協会の活動について

副会長 山本 久美

中小企業診断士を取り巻く環境は、国の示す施策等により劇的に変化しようとしている。例えば、経済産業省中小企業庁の事業である中小企業イノベーション推進施策に関する審査スキームにおいて、今まで診断士の評価が重要視されてきたが、今後は複数診断士による評価結果を基にAIが最終結果を決定していくプロセスに変わるようであり、そのプロセスを担うのは外資企業である。謝金に関しても今までの約1/2以下になる。

これらの変化を考察し、愛媛県中小企業診断士協会の今後のあり方について模索し、各業界団体との新たな連携を実施していくことにした。先ず、数年前から関わりのある愛媛県漁業協同組合連合会とは、愛媛県内53漁業協同組合の再編に向けて、愛媛県農林水産部水産局漁政課と協力しながら連携事業を行っていく予定である。

また、愛媛大学社会連携推進機構及び社会共創学部との連携協力協定を受けて中小企業診断士2次試験対応講義を実施することになった。2019年度は、特別講義として8コマ及びレポートによる修了証書発行を行う。2020年度より、社会共創学部として2単位(15コマ)としてスタートする。2019年11月の「診断士の日」は、愛媛大学70周年記念と合同で11月1日に「大学発ベンチャービジネスのあり方について」(仮題)を行うことが決定した。



これは、愛媛県中小企業診断士協会として新たなチャレンジでもある。文系理系の垣根を越えたベンチャービジネス支援を診断士が行うことで、株式上場した際にはストックオプションによる配当金を確保する考えである。夢に終わる

かも知れないが若手中小企業診断士がコンサルタントを目指す上でのスキルアップとともに、能力発揮ができる環境を整備することは協会として重要であると考える。文部科学省では、大学の自立を目指しリカレント教育を進めている。このタイミングを愛媛県中小企業診断士協会にとってチャンスととらえ、大学へ企画提案し深く関わりを持っていく考えである。

さらに、診断士協会の活動について組織運営を明確にするため ISO(国際標

準化機構)に則り、組織運営の仕組みづくりをスタートさせた。トップの変更により迷走するような組織体制では、劇的な市場変化に対応はできない。「愛媛県のために診断士協会として何ができるか。」を基準に組織体制を構築していきたい。

是非、愛媛県中小企業診断士協会に参加していただき、愛媛県のために、未来のある若者のために、ご尽力賜れば幸いである。



平成30年度 企業視察研修報告

多田 稔

去る平成30年9月2日～3日、恒例の愛媛県中小企業診断士協会視察研修が開催されました。今回の訪問先は愛南町からお隣の高知県を巡るルートでした。折しも台風21号が接近しており、道中が心配されましたが、幸い四万十川での屋形船観光が中止になった以外大きな影響はありませんでした。参加者は上田会長はじめ11名で、とても有意義な研修となりました。

1日目は、松山を車4台に分乗して出発し、昼食を愛南町の黒潮海閣（くろしおかいこう）さんでいただきました。当店はびやびやかつおや媛貴海（ひめたかみ）などのブランド魚が食べられる有名店とのことで、この日も豪華なお刺身御膳を頂戴しました。ここで地元ご出身の濱田先生と仲谷先生が合流しました。

その後、宇和海海中公園展望船「ユメカイナ」に乗船し、海中展望を楽しみました。また景観ポイントとして知られる「外泊の石垣」を散策しました。これら、この日一日の活動を通じて、地域のブランド化において「食」と「体験」を訴求することの重要性を感じた次第です。

夜は宿毛市の「椰子の湯」という施設に宿泊しました。ここで高知県協会の横山会長が合流され、懇親会を開催しました。横山会長を交え、診断士同士の良い交流ができたと思います。また、当施設は宿毛湾を一望できるロケーションで、部屋や露天風呂からの眺めはまさに絶景でした。



客室から見た宿毛湾

2日目は、横山会長にご紹介いただいた宿毛市の株式会社沖の島水産様を視察訪問しました。同社は魚価の低迷や消費者の魚離れに危機感を抱いた地元の漁師のみなさんが立ち上げた会社で、1次産業を担う漁師が水産加工品製造と販売まで担う、いわゆる「6次産業化」

を実現した企業です。同社の武内様には、事業のことが分からなかった漁師がいかにして会社経営を軌道に乗せたのか、そのプロセスと苦労をお聞かせいただきました。その後の質疑でも活発なやり取りが行われました。

また、同社の中心商品である「藁焼きカツオたたき」の製造現場を見学させていただきましたが、冷凍のカツオを藁の炎で一気に焼き上げる様は迫力満点でした。



「藁焼きカツオたたき」の製造工程は迫力満点！

こうすることで、藁独特の煙と香りがカツオの風味を引き立ててくれることです。

今回参加された先生方、大変お疲れさまでした。また準備に奔走していただいた協会の山本事務局長、大変ありがとうございました。加えて、高知県協会の横山会長ならびに大人数での訪問を快く迎えていただいた沖の島水産のみなさまに、この場を借りて御礼申し上げます。

企業視察研修は、年に一度、診断士が親睦と交流を深めながら、県外企業の生の姿を見ることができる貴重な機会です。今年は11月10日～12日の日程で山陰を回る予定ですので、ぜひご参加ください！



私は何者か

加地 孝則

ご安全に！が掛け声の建設業界に勤務する加地孝則です。昨年4月に診断士登録後、6月に入会しました。入会理由は①診断士業務機会と資格更新ポイント取得機会を増やすため、②みなさんとお知り合いになり刺激やノウハウを得て切磋琢磨するため、③愛媛が更によくなっていくことに携わっていきたいためです。診断士業務という新しいことにどんどん挑戦していきたいと思っていますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

1. 自分の概要

昭和43年生まれの50歳、実家は四国中央市、勤務先は大成建設(株)松山営業所、住まいは松山市和泉北4丁目の賃貸アパートです。地元の三島高校、国学院大学経済学部を卒業し、平成3年に現在

勤務先に入社してからは建設業界一筋です。

2. 自分のトリセツ

小学生時代はふくよかで鉄棒が苦手であだ名は“クマさん”、中学生時代はアニメとバスケに夢中、高校生時代はラグビーに熱中、大学生時代は写真家と広告業界に憧れた、ちょっとオタク気味で運動音痴なスポーツ好きです。



また、食べるのが大好きで最高体重107キログラムのデブ体質ですが妻の貢献もあり今は標準体重をキープ中、字は下手ですが診断士2次試験5回経験で多少上達など、不器用ですが真面目で粘り強さがあります。

3. 勤務先の業務

建築営業をやっています。お客様の建物新築・増築・改修工事等ご要望に対して、金額提案や技術提案等によりご要望に応えて工事を受注する業務です。お客様から頂いたお言葉で「欲しいのは建物という箱ではない、会社が繁栄し社員がハッピーになっていく未来だ。」が示すとおり、真のご要望を捉えてカタチにしていくことが大切です。工事完成時の嬉

しさや、様々な方からお話を聞きする機会もあり、日々刺激や発見を感じながら魅力ある業務に携わっていることに感謝しています。

4. 最後に

様々な進化が起こる現代、今後も錆びることなく、変化できる者でありたいです。人生100年として私はあと50年しかありません、がんばっていきましょう！



ご挨拶及び自己紹介 ～診断士として目指すビジョン～

仲谷 和浩

2018年から愛媛の協会に入会しました仲谷と申します。これまでずっと大阪においていましたが、ご縁があり愛媛の南予にある愛南町に2018年5月から移り住んでおります。中小企業診断士を目指したのは大学4年生の時で、それから1次試験を突破しても2次試験の1科目で振り出しに戻るなど長い道のりでした。2015年8月の1次試験をクリアし、2次試験ではなく、名古屋商科大学院ビジネススクールでの中小企業診断士養成課程コースに入学してMBAとのダブルライセンス取得を目指しました。相当な時間はかかりましたが諦めずに自分に負けない精神力だけは付いたと思います。この背景の1つに理由はどうあれ転職回数が多いことがあります。証券会社、ベンチャーキャピタル、飲食や美容など多事業展開のベンチャー企業、大手駐車場運営会社と渡り歩いてきたことでコンプレックスがあり、それを打ち消したかったこと。もう1つは起業の成功と失敗体験です。美容室を開業したいという方との出会いにより法人を設立しました。その事業は軌道に乗り今では数店舗運営するまでに成長しております。軌道に乗る中で、自分自身でもイベント

事業やカーシェアリング事業など関心がある分野にチャレンジしましたがうまくいきませんでした。振り返ると原因は起業家として自分自身にビジョンがなかったことだと痛感しております。その経験から「夢がある方の応援」をこれからのビジョンにしようと決めました。



愛媛には5社目となる転職先である官民ファンドの現地常駐人員として移り住むことになりました。(独身のため身軽でした 笑)愛媛は養殖の鯛生産量において有数の地域ですが、商社を通した取引が主流となり、相場に左右されることで不利な立場になる家業で生計を立てる生産者が潤わず、廃業に追い込まれるといった構造的な問題がある業界です。手間暇かけて一生懸命育てた鯛を自分たちで流通に関与し、付加価値をつけることで新たな販路を開拓していくみたいという生産者と一緒にになって立ち上げた企画販売会社に出向しております。プロジェクトの期間は5年ですが、その中で官民ファンドが抜

けても現地で継続して事業が成り立つ状態まで成長させるのがミッションです。4月には加工場が竣工しますのでそれに向けて営業・採用・ブランディングなどを少人数で日々活動しております。起業・事業の立ち上げ経験を活かしたマネジメント、かつ客観的な中小企業診断

士の視点で進むべき方向へと導くことが求められるので非常にやりがいを感じております。このプロジェクトの後はまだ考えておりませんが、先に述べたビジョンに加え「地域活性化」も自分のテーマにしていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

新人中小企業診断士としての事業活動内容と 新会員としての抱負



小泉 航二郎

2018年7月より新会員として入会させていただきました小泉航二郎と申します。現在は東京都北区在住で、主に東京都、埼玉県の中小企業経営改善支援や出身校である法政大学経営大学院の特任講師をさせていただいております。近い将来、故郷である愛媛県に戻り、愛媛県を基盤とした中小企業経営支援活動がしたいと考えているため、東京都中小企業診断士協会での活動に加えて、愛媛県中小企業診断士協会にも入会させていただきました。

長らくドイツ系総合化学会社においてマーケティング、技術サービス等の職務に従事しておりましたが、その後、経営難に陥った中小企業の事業再生を役員としてお手伝いさせていただいたことがきっかけとなり、より幅広い中小企業の経営支援がしたいとの思いを抱くようになりました。そのような思いから法政大学経営大学院においてMBA取得、そして中小企業診断士資格を取得し、2018年4月に中小企業診断士登録をさせていただいた後、現在は東京都において独立中小企業診断士として活動しております。

多くの診断士が集まり、競争が激しい東京都で登録初年度から十分な仕事を確保することはなかなか難しかったのですが、地元信用金庫主催の交流会等に

積極的に参加し、中小企業の課題解決提案を行うことで提案が採用される等の活動を行ってきたことにより少しずつ実績を積み上げています。



組織・人材育成、財務管理、事業計画策定、事業収益性改善、事業承継、知的資産経営導入、創業等、幅広く支援対応できる診断士を目指していますが、その中でも中小企業の人材支援・組織活性化支援については特に注力した支援を実施しています。企業の競争優位の源泉となる最大の知的資産は「人材」・「組織」であり、特に中小企業にとって経営の安定、将来の成長を目指す上での最重要課題であると考えているためです。現在、独自の支援プログラムを作成し、経営者と従業員の価値観を十分に反映した経営理念・ビジョンを社内で共有することでお互いに理解し合うことからスタートし、その信頼関係を基盤とした明確な理念・ビジョンの下において課題の洗い出し、課題解決可能な人材・組織戦略策定、戦略実現のための行動プランとPDCAサイクル策定の手順を進める支援を実施しています。プログラム内容に共感・支持をいただいた複数企業での支援

を実施させていただいているが、実務を通してより内容の充実したプログラムへと更にレベルアップを図っていきたいと思います。

また、中小企業診断士として蓄積して

いる専門知識や経験を活用し、愛媛県内の企業や地域活動とのつながりを広げ、協会と地元経済の発展に貢献したいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



中小企業診断士を目指した理由と2019年の抱負

小柳 紗香

2016年春、「上京してコンサルタントを学びたい」と、私は人生の舵を切りました。決意した理由は大学卒業以降、勤めていた自動車ディーラーでの経験にあります。

私が勤めていた自動車ディーラーは変革期にありました。自動車業界は昔からの慣習や風習が根強く残っている業界です。値引き合戦は当たり前に行われ、御用聞き営業が一般的な世界でした。従来からの脱却を目指して、採用された新制度第1期生が私でした。私は当時の店長およびマネージャーの指導に基づき、次の3点に取り組みました。1点目は商品価値を高める提案営業、2点目は来店してもらえるお客様との関係構築(従来は訪問型でした)、3点目は新しい組織・風土づくりです。これらを推し進めるうえで、年配スタッフに口出しされることもしばしばありましたが、共に取り組んでくれる新スタッフが増えていき、退職する頃には古い体質を一新でき、若い社員でも力を發揮でき、やりがいを感じる職場に変革することを経験しました。会社が生まれ変わるには、従業員一人一人に会社の新しい方向性とそれを目指す理由、およびその中の自分の役割を明確に把握が必要だと学びました。

私はこの経験を通して、世の中には多くの企業が従来のやり方から変革することが必要とされているのではないか、そして、中小企業診断士になれば、そ

いった中小企業の変革に多く携わることができるのでないか、とも考えるようになりました。これが私の中小企業診断士を目指したきっかけです。



それから約2年半、東京都江東区の中小企業診断士事務所で診断士の補助員を務めました。その代表は、中小企業が継続しやすい形での支援を提供しています。補助員を務める中で、診断士としての生き方を学ばせていただき、将来的のビジョンを描くことができるようになりました。私も一人前になったときには、新たな診断士を育てたいと思っています。

2018年の9月に(公財)日本生産性本部の養成課程を卒業し、11月に診断士登録したのと同時に開業しました。そこで、2019年の抱負を3つ立てました。1つめは、専門分野を強化することです。私の専門分野は、中小企業向けの人事制度です。一般的な人事制度である等級制度、賃金制度、評価制度の提供だけではなく、経営戦略や財務会計と連動するような仕組みを提供したいと考えています。幅広い知識を持つ中小企業診断士だからこそ提供できる仕組みです。中小企業の経営者の中には、本業においてはプロフェッショナルであるものの、財務会計や人事制度といった管理分野が不得意な方が多くいらっしゃるように思

ます。そういった部分を補える支援の強化をしていきます。

2つめは、1つめの「専門分野を強化する」とは相反しますが、幅広い経験をすることです。診断士には多様な働き方があります。ひとつの概念にとらわれず、広い視野を持てる診断士を目指します。

最後3つめは、地元愛媛県に貢献でき

る診断士になることです。現在、東京と愛媛に拠点を構えており、東京を主たる拠点として活動していますが、愛媛を主たる拠点として活動することが私の将来ビジョンです。そのために、2019年一日一日を積み重ねていきます。今後とも宜しくお願ひ致します。



お知らせ

■平成31年度（前半）の行事予定

日 程	行 事 内 容
5月10日(金)	理事会 税理士法人越智会計事務所
6月14日(金)	定時総会 東京第一ホテル松山
8月10日(土)	理論政策更新研修 リジェール松山
11月1日(金)	「中小企業診断士の日」イベント（愛媛大学）

編集後記

「しんあい 2019年春号」発行にあたり、大変お忙しい中ご執筆いただきました皆様、誠にありがとうございます。

また、協会事務局、広報委員、発行に関わっていただいた皆様に、心より御礼申し上げます。

私は、樹木希林さんのドキュメンタリーを見て、「飾らない、おごらない、あらがわない」という彼女の生きざまに心を打たれました。一喜一憂するのではなく、平気に生きることは難しい。幸せに生きるための宿題だと思っています。

最後に、いただいた原稿につきましては、できるだけ原文通りに掲載したいと思っておりますが、紙面や構成の都合で編集させていただく場合もございます。ご了承のほど、お願い申し上げます。

(広報委員長 西田元信)